

河川砂防技術研究開発公募(流域計画・流域管理課題分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
氾濫域におけるPPPによる流域管理及び地域計画の融合に関する研究(研究期間:H22年~H24年)	(一社)日本プロジェクト産業協議会 石田 有三	C
<p><研究概要></p> <p>本研究は、氾濫域において、これまで個々に進められてきた流域管理と都市計画・地域計画に対し、PPPの概念を取り入れた流域管理と都市計画の連携方策を実現するための課題抽出や施策検討を行った。具体的には、連携方策の適用を想定したモデル地区とモデル事業を設定し、このモデルに関する簡易FS調査を行うとともに、産官学横断型グループを構成して連携方策のための制度設計について議論した。以上の活動を通じて、河川法及び都市計画法において改正すべき事項を明らかにし、連携方策を実現するための推進組織・対話手法のあり方を示した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>立川市の事例をケーススタディとして、学・官・民の関係者を集めて具体的な視点から議論を進め、三者が連携した事業モデルを提案する等、一定の研究成果があった。</p> <p>今後は、コンパクトシティを形成していく上で河川が果たす役割の検討が進み、ケーススタディの結果を活用して河川と都市が連携した政策の提案につながることを期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い